



# 広島工大 同窓会会報

第24号

編集 広島工業大学同窓会  
 発行 永見 憲吾  
 〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1

## ひび 日々のくらしの中で もう、すっかり忘れていませんか 三宅の丘の青春の瞬間を



同窓生のみなさんお元気でしょうか。今年は、六月の前半は空梅雨で夏場の水が心配されましたが、後半より雨が降り出し、梅雨らしい季節となりました。それぞれの職場にあって仕事に頑張っておられると思いますが、お体に気をつけて、日々働かれます様お祈り申し上げます。

さて、今年度も総会が四月十六日に行われ、さらに六月には第一回の役員会も行われました。いくつかの新しい方針も打ち出され、毎年僅かずつではありますが、確実に目標に向かって進んでいることを感じます。昨年は同窓会の財務の中で長年かかっていた基金の問題がありましたが、管理面の本来の姿である同窓会独自の預金に戻しました。この基金も奨学金基金八百万円等合算しますと、一億円を超える基金となりました。これにより一億円MMCで運用し、七・三%の高金利をつけていただき、財産管理の面も、さらに充実してまいりました。現在一万九千名の同窓生を擁していますが、将来三万、四万人の会員になったとき、同窓会費の負担が増加し、運営に支障きたさないために、今から考えているところでもあります。将来は、この基金の一部を金利運用で補っていくために備えているところでもあります。組織の充実につい

同窓会二十五周年に思う

同窓会会長 永見 憲吾

ても、道田副会長を中心に検討会を持ってありますが、母校の連携により一歩一歩ネットワークを広げているところでもあります。昨年は卒業年次ごとのクラスの連絡員としての役員組織をスタートし、今年度は各県支部に対して総会出席の交通費補助を一支部一名往復支給することに決定しました。これにより、各県支部からの参加もよりやすくなったと思います。さらに職場支部を含む、各支部には同窓会支部としての存在を知らしめる方法として大学校旗を贈呈することに致しました。本年は同窓会創立二十五周年の年にあたります。そこで初心にかえて同窓会の目的を改めて読み直してみました。「本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校の発展に貢献する」とあります。この目的を具体的に実行していくためには、何をしておもやりに連絡の取り合える組織がなければ動かないということでもあります。そして母校の発展に貢献するためには、母校の教育理念をまづ理解し、卒業生として、社会人として、この崇高な教育理念のもとに各職場において具現化していくことが大切であると思えます。最後にみなさま方の益々のご活躍を祈念し揮筆致します。

### 大学と同窓会とのタイアップは両者のよりき発展をめざして

同窓生の皆様、はじめまして。現在、鶴学園で常務理事として勤めております鶴 衛です。同窓会紙の紙面をお借りいたしまして、同窓生の皆様へ一言ご挨拶をさせていただきます。

私は、昭和32年に鶴学園及び広島工業大学の創立者であります鶴 襄の長男として生まれ、広島修道大学、同大学院を卒業後、アメリカのデラウェア大学大学院を修了し、昭和63年9月に鶴学園に入りました。学園では総合企画室を担当し、将来計画の立案を中心に様々な企画を行っております。

将来計画を立てるうえで最大の問題は、大学受験者である18才人口が、平成4年をピークとして恒常的に減少するということです。このころ3年は、大量の大学不適合者が生まれていますが、これは18才人口の増加と進学率の上昇によるものです。しかし、大学受験者の絶対数である18才人口は、平成4年全国で205万人であるのに対し、平成12年の減少は150万人と大幅に減り、その後とそれを超え続けるため、大学の自然淘汰もあられると危惧されています。このような厳しい状況を迎えるにあたり、大学と同窓会とがタイアップして、両者の発展を目指すことは重要なことと思えます。

同窓会は今年で創立25周年を迎え、同窓会員も1万9千人を超える大組織に成長したことを聞きまして、同窓生の子供たちが、大学として入学して来られる時代にもなりました。昭和30年に短期大学としてスタートした広島工業大学が、現在のような立派な大学に成長されましたとは、多くの先生や事務職員の努力とも



鶴 衛  
 鶴学園常務理事  
 総合企画室担当  
 生年月日：昭和32年11月11日(鶴園)  
 家族：妻と長男  
 履歴：昭和54年3月 広島修道大学商学部経営学専攻卒業、58年3月 広島修道大学商学部経営学専攻修士前期課程修了、63年5月 デラウェア大学(アメリカ、デラウェア州)、教育学研究科教育実習専攻前期課程修了、9月 鶴学園に入り、現在に至る。身長：174cm 体重：78kg 血液型：O型 趣味：ゴルフ(90打)、スクワット、読書、音楽、好きな女流：歌手・山口百恵、田中先生子最近読んだ本で印象に残っているもの：「ビジネスマンの父より息子への30歳の手紙」 得意な食べ物：肉類、好きな飲み物：缶詰の缶ビール

に、同窓生の皆様の温かいご支援の賜と深く感謝いたしております。今後とも全国で活躍の皆様の伝統を受け継ぎ、建学の精神及び教育方針に則って引き続き養育して、「広島工業大学の学生は、勉強もよくできる人間的にない」という社会的評価をさらさら高めて行けるよう、微力ながら努力して行所でございます。

来年は広島工業大学も創立30周年を迎えます。同窓会及び同窓生の皆様もご協力をお願いし、立派な30年目にしたいと思っております。よろしくお願いいたします。最後になりましたが、同窓会の益々のご発展、同窓生の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

同

## 定期総会のご報告と今年度の活動方針

## 第25回定期総会報告

第25回総会が去る4月15日(日)、広島県民文化センターにおいて開催された。

催された。永見恵吾会長(昭和42年電子卒)の挨拶で始まり、議長に河野信義氏(昭和39年電子卒)が選出され、平成1年度活動報告、会計報告、同窓会奨学金会計報告、会計監査報告が各幹事からあり承認された。つぎに平成2年度活動方針案、予算案、役員改選の説明があり承認された。平成1年度の活動の特徴的なものは、会計業務、財産管理を中心とする活動である。終身会費納入台帳の整備や会計処理の改善が行われた。また、同窓会基金が金融的に正常化され、基金運用、利権に関する検討が本格的に開始された。定例の活動(総会開催、会報、会誌編集発行、名簿の整備発行、在学生援助(体育祭援助、工大祭援助、クラブ援助、

奨学金支給)、支部発会式出席、大学との委員会開催、幹事会・役員会等の委員開催)も、予算の範囲内で無事終了している。

役員改選では、永見会長が再任され、幹事長には吉田和信氏(昭和55年機械卒)が再任された。総会終了後、塾長、母校の各学科、各部局の教職員の方々を交えた懇親会が開催され、学長および教職員の方々より心あたたまるとお言葉を頂き盛会のうちに会は終了した。参加者人数は113名であった。(書記 桜井元康)

## 平成2年度活動方針

定例活動の他に三つ挙げています。以下項目別に説明致します。(1) 組織の充実：今年度は、特に、同窓会組織の完成および、支部分なごも県および地域支部の結成のための支援に重点を置きたいと考えています。

(2) 年間活動費の将来予測：現在の年間活動費を継続してゆけば近い将来、赤字運営となることは明らかであり、終身会費の値上げ時期、値上げ幅を早急に検討しなければならぬ時期にきています。我々の概算によれば、現在の終身会費15,000円に対する健全な年間活動費は500万円程度になりますが、実際の活動費は1千万円を超えています。この影響は、会員数が増大し、ある一定数を越えたとき、表われてきます。年間活動費をもっと制限する、終身会費を段階的に上げてゆく等の具体的対策が必要なのは明らかです。

(3) 同窓会諸業務の大学との連携検討：大きなところは、会員名簿のメンテナンスの仕方があります。現在、大学でその支部分のデータを管理し、卒業時の就職先までフォローしています。卒業後の会員のデータは、同窓会にそのメン

テナンスが委ねられています。その仕事量は、会員の増加に伴って、ますます多くなってきており、ぜひとも多くの協力を仰ぎたい段階にも来ています。つぎに、会誌、会報の発行です。これらも、学内の幹事が中心となって1年毎に係りを決めて発行していますが、仕事の合間にやるものでもなく、内容を十分検討する余裕がなく、前年度の形式をふむくことで精一杯というが実情です。この仕事も将来は大学と連携して、その質を高めることにも、学内幹事の実務負担を軽減したいと考えています。

以上の方針に基づいて活動継続・発展させてゆきたいと考えています。少しでも会員の皆様のお役にたてる同窓会を目指していますので、今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願致します。(幹事長 吉田和信)

## 平成2年度同窓会役員

会長	永見 恵吾(電子)
副会長	道田 憲治(経営)
幹事長	橋田 好弘(機械)
副幹事長	吉田 和信(機械)
副幹事長	寺地 越二(建築)
会計	古川 博仁(機械)
村田 弘志(電子)	
水落 健治(建築)	
会計監査	金塚 一郎(建築)
小西 正明(機械)	
書記	小池 利明(機械)
桜井 元康(機械)	
幹事	(電子)砂田廉二、川畑敬志
玉野和保、重広孝則	
(電気)湯尾 照、堀上憲治	
原田義治、沖根光夫	
(機械)山崎之丞、中西勘次	
松江孝博、森滝美治郎	
高瀬 明、山下一彦	
松岡泰弘	
(土木)伊藤秀敏、菅 雄三	
村中昭典	
(建築)菅原辰幸、手越義昭	
大林 真、植村邦彦	
(経営)西田弘毅、近宗 貴	
広重 隆、福水 保	
松廣 森、西野達夫	
評議員	(電子)大森寿男、荒瀬富雄
枝廣和寛、山我康博	
(電気)森本義典、可知英樹	
松原昌弘	
(機械)大森英寿、猪原昭昭	
木村一彦、坂本幸雄	
砂原照雄、藤川正博	
新原敏春、松村拓典	
立花千秋	

(土木)三浦勝行、寛谷寿一  
(建築)青木龍典、中塚晴夫  
森田洋生、中島伸夫  
上之博文、森京 正  
(経営)時 司、吉清有三  
大田善徳、岡本記

## 平成元年度会計報告

〈収支決算〉	
平成元年度総収入	18,050,913
平成元年度総支出	13,899,458
残 高	4,151,455
(2,000,000は基金に繰り入れも)	
〈横立・基金の部〉	
昭和63年度繰越金	83,888,720
同窓会基金	2,000,000
記念事業積立金	1,000,000
預金利息	4,787,574
合 計	91,676,294

〈収入の部〉	
昭和63年度繰越金	3,400,018
入会金 3,000円×952人	2,856,000
終身会費 15,000円×746人	11,190,000
総会会費 4,000円×97人	388,000
広告料	0
雑収入(寄付金等)	113,910
預金利息	102,985
合 計	18,050,913

〈支出の部〉	
会誌発行費	1,374,535
会報発行費	270,890
名簿発行費	1,841,228
総会開催費	694,367
支部費	55,200
在学生援助費	936,000
卒業記念品費	405,270

通信費	2,460,308
消耗品費	684,863
交通費	105,900
会議費	102,457
役員手当	61,000
委託費	1,311,840
基金繰入金	2,000,000
奨学金繰入金	455,000
母校支援寄付金	100,000
記念事業積立金	1,000,000
予備費	40,600
合 計	13,899,458

奨学金会計報告	
〈収入の部〉	
基金	8,775,114
繰込金	455,000
利息	71,999
寄付金	473,300
合 計	9,775,413

〈支出の部〉	
奨学金	630,000
手数料	17,490
合 計	647,490

## 平成2年度予算

〈収入の部〉	
平成元年度繰越金	4,151,455
入会金	2,778,000
終身会費	12,480,000
総会会費	400,000
預金利息	100,000
広告料	0
雑収入(寄付金等)	50,000
合 計	19,959,455
〈支出の部〉	
会誌発行費	1,450,000

会報発行費	300,000
名簿発行費	2,000,000
総会開催費	890,000
支部費	400,000
在学生援助費	1,300,000
卒業記念品費	500,000
通信費	2,600,000
消耗品費	900,000
会議費	500,000
交通費	250,000
役員手当	160,000
委託費	1,920,000
同窓会基金繰入金	2,325,000
奨学金繰入金	2,994,000
母校支援寄付金	100,000
予備費	1,370,455
合 計	19,959,455



第25回同窓会総会・懇親会から





学位取得

Table with columns for university name, degree type, and recipient name. Includes entries for Hiroshima University, Hiroshima University of Education, and Hiroshima University of Science.

自治会は今年で30期を迎えました

第30期学生自治会会長 三村 淳子

同窓生の皆様へ温かく見守られ、自治会も30期を迎えることができました。自治会傘下の文化局や学芸実行委員会に於きましても、皆様方の温かい御支援によりまして、年々と行事が拡大化してきておりますので、関係者一同深く感謝しております。

今年で第25回目の文化局主催「定期演奏会」が、6月末日に行われたのですが、近年に全く盛大に終わりました。各音楽サークルとも、工夫を凝らしたステージを観てくれました。また、芸術系サークル出展の第22回「芸術祭」は、春と秋の2回に分れて益々盛大なものになってきております。今年は大子学生の新入生が40数名と多く、各サークルにも入部者が増え活気に満ちております。また、11月の2,3,4日には「工大祭 Now for the next-未だ見ぬ明日へ

ーが行われる予定です。工大祭実行委員会も、人数が増え3年3回の倍になった程です。内容と運営の両面は一段と増えるものと思われ、是非この時期はお休みを取って、母校の工大祭へ、そして出身サークルとの温かいのしめごとをしたいと思います。あのファイヤーを是非もう一度ご覧になって欲しいと思います。その時にはOBとしてのご意見をお聞かせ願えたらと存じます。

我が後輩として、経験を踏まえた先輩のご意見は貴重です。お世話になった方にはもう一度お会いしたいと思っております。何かと面倒なところも思われずには、是非と我々のお力添えをお願い致します。思いのまま、今後とも御支援、御指導の程、宜しくお願い致します。(電子工学科4年中村ゼミ)

入試相談会 地方会場のお知らせ



各県下の新聞社などの主催による平成2年度の入試相談会「下記のようなスケジュールで開催されます。本学からも教職員が各会場に参加していますので、地域の方は是非おいでください。

Table with columns:開催地,開催日,主催,会場. Lists consultation events in various prefectures like Hiroshima, Yamaguchi, and Tokushima.



海のオリゼミ'90

今年のおりゼミは、解放的な環境の中で思い通りに新入生歓迎をセメントにして、広島の大規模な身近な瀬戸内海の船上で実施されました。4月も下旬をむかえ、海は夏を告げる絶好の航海日和に恵まれた。27日の午前10時には太陽組(電気・建築・経営の新入生、指導協力学生・教職員)624名を乗せた7500トンさのふらあわが朝日をいっぱいにあびて、一路、瀬戸大橋をのぞいた。彼ら瀬戸内海を周遊して帰港した28日の午後からは入れかえに花組(電子・機械・土木の新入生と指導協力学生・教職員)668名が出発したのである。船上では早速、歓迎セレモニーが始まり、水田学務部長の感懐を鼓舞する挨拶に続いて、参加者の紹介、行事内容の説明が行われ、新入生たちは、それぞれ船内のラウンジやデッキに分かれて各科の意欲をこぼれしだす学科会に臨んだ。デッキの上で、みんなで歌った。夕映えの瀬戸大橋が空に燃えついてはならない、夕刻からは、ビデオ映写の映し、そしてオケ大会には大衆も飛びこんで名調子を披露して、やんやの拍手をあびた。最後はやっぱり自治会・文化局が主催するディスコ。サンフラワーホールいっぱいにつめかち若者たちはロック部、フォーク部の奏でる熱狂的リズムにのっけこみで汗を流していた。

好評のスポーツ講演会

平成2年度の講師は柔道の山口香さんに決定。かつて、絶頂期の広島東洋カープを率いた古業川監督や、新体操の山崎浩子さんを講師に迎えた輝かしい実績を誇る、体育会主催のスポーツ講演会。平成2年度スポーツ講演会の講演者が、女三郎の異名も持つ柔道界の明星山口香さんに決定しました。みなさんご存知のよう山口香さんは、昭和53年から62年まで全日本女子柔道体重制選手権大会で10連覇を成し遂げ、ソウルオリンピックでは銅メダルを獲得しました。現在、武蔵大学で体育実技を教えることから、筑波大学女子柔道部において監督もつとめておられます。ここ数年、体育会恒例のこのスポーツ講演会は大変な活況を呈しています。62年の山本由二氏、63年の衣笠祥雄氏、そして昨年年度の森本慎二氏と、いっせいに我が国スポーツ界を雄飛した達人を講演者に招きました。耐えて、最上のご馳走にだけご家庭をささぐってくださった方たちの熱い人生論が、多くの感動を呼んだのです。今年には、山口香さんのおやなか中にも不屈の闘志を秘めた華やかなスポーツ精神論が聴けるのではないかと体育会では大いに期待しています。日時は平成2年11月17日(土)の午後1時半から3時と決定しました。未だ大分先の事ですが、同窓生の皆さんも当日、時間がとられましたら是非お越しください。体育会一同心からお待ちしております。



編集後記

同窓会誌創刊号で「広島工大の出身者はどこか凡庸を襲った面白くない」という世評の中に立ち得たらどんなに愉快かと思ふ。諸君の努力を望んでやまぬ。故く保護教授が提言されてきました。最近「工大の卒業生がよく頑張っている」ということを企業の方から伺うことが多くなりましたが、はたしてどんな世評が定

着したのか、あるいは定着しつつあるのでしょうか。社会における卒業生の活躍が母校広島工大のイメージにつながるだけに、ちょっと気になる昨今です。さて、同窓会誌24号をお届け致します。今年には編集委員会のメンバーとして加わったもひとり瀬尾和子さんに加わっていただき紙面を一新しました。瀬尾さんは、学務部学生課に勤務で「広島工大」の編集にも携

わってられますが、大学にお願いして会誌・会報の編集に協力を得ることになりました。今後ともより充実した会報・会誌とするよう努力してまいります。ご意見・ご希望をお寄せ下さい。最後に、会員皆様のご健康とご活躍を祈念いたしております。編集委員一同

名刺広告掲載のご案内

同窓会では会誌への名刺広告掲載を会員の皆様より募集しております。掲載料は1件1万円です。掲載ご希望の方にも同窓会事務局までお申し込み下さい。皆様のご協力をお願いいたします。

Table with columns: 奨学資金募金項目, 金額, 方法. Lists items like '金 額' and '申込方法'.

平成2年同窓会役員名簿送付について

- List of items to be sent: 会簿価格, 発行予定, 申込方法. Includes details about the 1990 membership directory.

